

令和6年度 第2回 学校運営協議会議事録

校名	府立吹田高等学校
校長名	大川 賢司
開催日時	令和6年11月15日（金）15:00～16:20
開催場所	府立吹田高等学校 本館2階 会議室
出席者（委員）	岡崎守夫会長、北波道子副会長、樋口由美子委員、酒井睦美委員、松本光稔委員
出席者（学校）	大川賢司校長、浅尾義和教頭、島田敬三事務長、小澤靖典首席、安藤圭祐教諭 地頭寿美玲教諭
傍聴者	0名
協議資料	令和6年度 授業アンケートについて（資料1） 令和6年度 学校教育自己診断について（資料2） 令和6年度 吹田高校 広報関連事業
備考	

議題等（次第順）
・ 令和6年度の学校経営計画及び学校評価について ・ その他
協議内容・承認事項等（意見の概要）
○令和6年度学校経営計画及び学校評価について以下の通り質疑応答・意見交換を行った。 ・ 学校経営計画の進捗状況について ・ 令和6年度の授業アンケートについて（7月8日実施） ・ 学校教育自己診断について 質問：授業の中で工夫しているところはどのようなところか。 答：二人体制での授業。実験のときこそ厳しく、座学のときは褒めるなど、生徒たちに寄り添う授業を意識している。初めて授業をする先生にも授業が一番大切であるということを伝えている。 ・ 広報について 学校ホームページについて…アクセス数がわかるようにしている。校長だよりのアップ数がかなり多い。 意見：校長だよりがとてもわかりやすい。大変ですが続けていってください。 広報としては、90以上の塾（吹田・茨木・市内・豊中等）へ訪問し情報交換を行っている。進学フェアには新着任の教員が参加し、プレゼンを見て学校のアピールポイントを知ってもらう。学校説明会では生徒会執行部などが説明をし、学校案内をする。他にも中学校への出前授業、中高連絡会（17、8校の参加）、府立高校合同説明会、個別進学相談会、プログラミング講座、吹田高校文化祭などで広報を行っている。 意見：大変ではあるが、広報活動によって活発な生徒が集まってきているのではないかな。 また、中学校への出前授業などを多くできればよいのではないかな。 このような広報活動はとても価値があることなので、今後も続けていくのがよい。 答：中学校によって、進路の授業、高校の授業を体験してもらおうということもしている。 意見：第1回の学校説明会では、吹田高校の授業を体験してもらおう。学力で選べないから吹田高校を選ぶという生徒を減らし、吹田高校だから行きたいという生徒を増やしたい。吹田高校へ行きたい、めざしたい、これが楽しみという生徒に入学してもらい、中退率も減らしたい。 質問：近年の中退率はどうか。 答：昨年度3月に卒業した生徒は、30人強くらいの転退学があった。 質問：転退学を考えている生徒にはどのような指導をしているのか。 答：担任の先生を始め、学年主任などの指導。休みが多くなった生徒には校長との面談をする時間を設けてい

る。通信制や定時制への転学が多くなっている。

・修学旅行、文化祭について

修学旅行および文化祭は、いずれも大きなトラブルなく実施され、生徒たちにとって貴重な学びと成長の機会となった。

・生徒指導について

遅刻に関しては「入室許可証」を活用した対応を継続している。今年度は早朝登校率の改善を目指し、「遅刻を2%減少させる」ことを目標としていたが、現時点ではむしろ約19%の増加が見られている。遅刻の主な要因としては、「夜遅くまでのスマートフォン使用」や「アルバイトによる帰宅の遅れ」などが挙げられ、生徒の生活習慣の乱れが深く関係している。特に、遅刻者の半数以上が寝坊によるものである。

このような現状を受け、今後の課題としては、遅刻を減らすための具体的な声かけの工夫や指導方法の見直しが求められる。現在は「学校や授業を大切にしよう」という基本的なメッセージを伝えているが、より生徒一人ひとりに響く言葉やアプローチを模索していく必要がある。

質問：多く遅刻している生徒にどのように指導しているのか。

答：早朝登校を実施している。早朝登校にも来ることができない生徒には、自分の生活を振り返り、どこに遅刻の要因があるのかを考えさせている。

校長から質問：遅刻する生徒、不登校生徒への対応はどうか。

答：中学校では、「ありがとう」の声掛けをする。「825の取り組み」5分前行動の大切さなどを授業で伝える。生徒会のあいさつ運動。「デイ健」。朝学などを実施する。

なかなか教室に入れない生徒は、適応指導教室で教室の授業をオンラインで聞く。放課後等デイサービスで人と関わる練習をするなど（保護者の協力が必要）。人と接することがこわい、面倒ということがある。「～だけでいい」とか「～だったらできる」という話をする。

答：大学では、生活リズムなどの指導はしない。ゼミの出席がなく、連絡もない場合がある。簡単に休む感じがある。配慮が必要な学生には、レジュメなどをネット上で見てもらうこともある。1年生の導入クラスで「必ず来なければならない」などの説明をする。

答：大学では、いわゆる担任のような、フォローする体制が整っている。

校長から質問：4～6時間睡眠の生徒が4割、スマートフォンの使用時間が5時間の生徒がいる。魅力ある授業ができていれば、生徒が来るのではないか。授業力向上するための取り組みはどうしているか。

答：校長先生をはじめ、たくさんの先生方が授業を見に来る場を設ける。グループを作るなどしてお互いに見に行く習慣をつける。「学力向上委員会」がある。

・通学マナーについて、身だしなみについて、校則について

・進路について

100%就職を目指して指導中

地元の大学へ進学を目指している生徒が多い。

・行事について

文化祭について：9月28日（土）実施

1年生…ステージ発表

ステージが活性化しているという印象。

・修学旅行について：10月22日から3泊4日

1日目…平和学習・民泊 2日目…民泊体験 3日目…アクティビティー

次回の会議日程

日時	令和7年2月7日（金）14：30～
会場	府立吹田高等学校 本館2階 会議室